

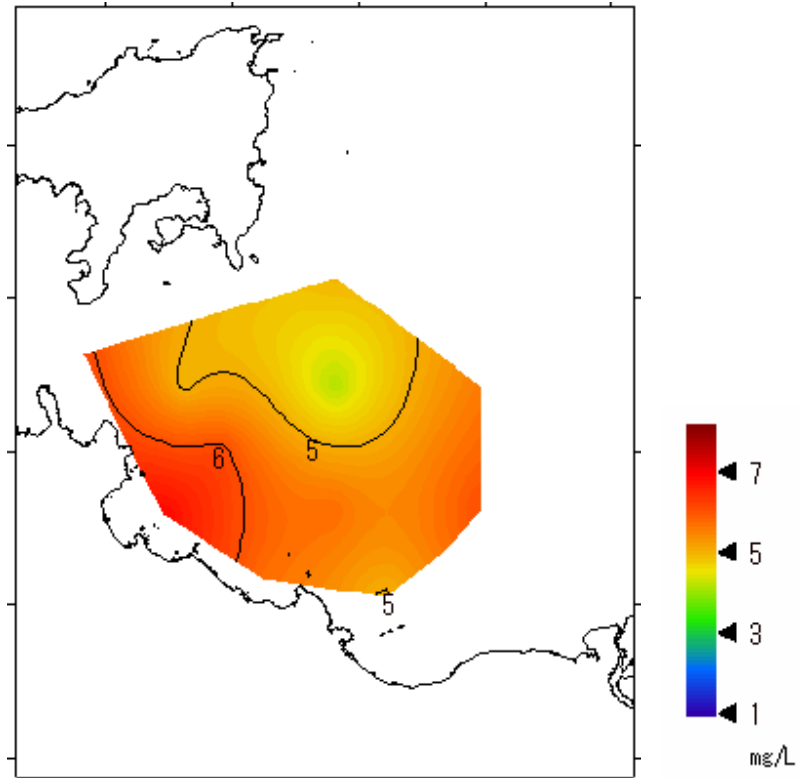
播磨灘貧酸素情報（第 1 号）

香川県水産試験場

7月1日観測結果

7月1日の測定結果では底層の貧酸素の状況はそれほど深刻ではありませんが、小豆島南東沖で低くなる傾向が表れています。今後、水温の上昇に伴い、貧酸素化する可能性がありますので、動向に注意する必要があります。

調査名：浅海定線調査
測定方法：ウインクラー
アジ化ナトリウム変法



底層の溶存酸素濃度

溶存酸素濃度（DO）の目安*

溶存酸素濃度	生物への影響
4.3mg/L 以下	魚類・甲殻類・底生生物（ベントス）に影響
3.6mg/L 以下	貝類に影響，甲殻類の生存困難
2.9mg/L 以下	底生生物（ベントス）の生存困難
2.2mg/L 以下	底生魚類の生存困難

* 漁場環境容量策定事業報告書（水産資源保護協会 1989）を参考にしています。